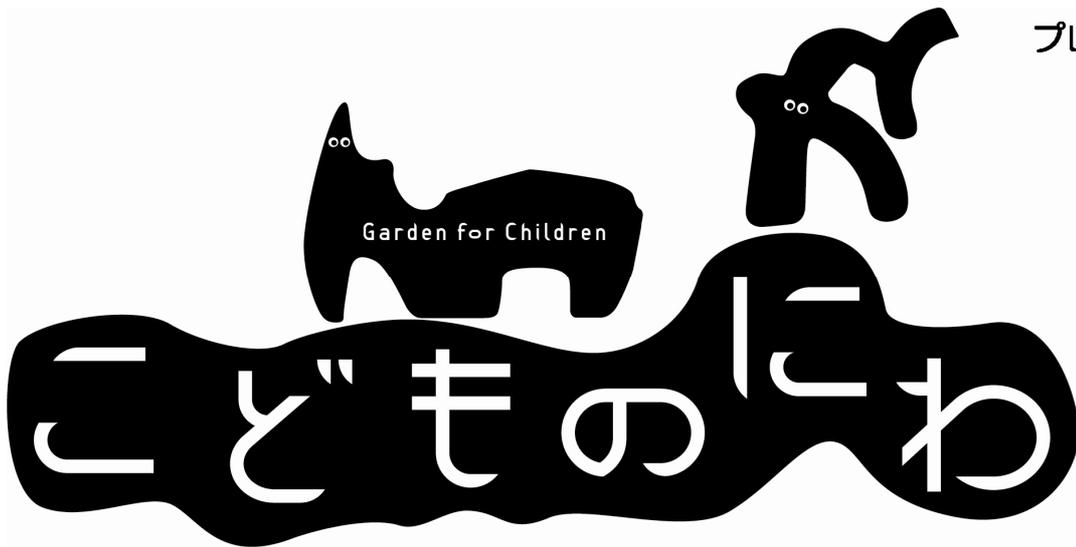


プレスリリース 2010.5



2010年7月24日(土) – 10月3日(日)
July 24 (Sat) – October 3 (Sun) 2010



大巻伸嗣《ECHOES - INFINITY; Kumamoto》(部分) 2009 撮影: 矢加部咲 会場・写真提供: 熊本市現代美術館 参考図版

www.mot-art-museum.jp

MOT
MUSEUM CONTEMPORARY TOKYO
OF ART
東京都現代美術館

こどものにわ 展覧会概要

乳幼児を取り巻く世界観は、近年の脳科学や発達心理学の研究により、従来考えられていたような「大いなる混沌」ではなく、認知的にも感情的にも豊かな世界であることが明らかにされつつあります。「こどものにわ」は、小さなこどもの認識世界や心象風景に着目して構成する乳幼児から大人まで楽しめる展覧会です。5組の若手アーティスト、建築家による空間全体を作り出すような体感型・参加型の新作を中心に展示します。

こどもの視点や身体感覚、心の動きを通してとらえた美術世界を、周りの大人が共有、あるいは追体験することで、年齢層の異なる他者とのコミュニケーションや、人と美術の関係を再考・再発見するような機会を創出します。こどもと一緒にさまざまなものを見て、感じて、こどもと語り合いながら、共にアートに触れ、楽しむ豊かな時間は、こどもだけでなく、大人にとっても、普段の日常生活では得られない貴重なひとときとなるでしょう。

また地元江東区の乳幼児とその保護者とのワークショップを美術館や近隣の保育施設等で実施し、その成果を美術館内外で展示することで、地域と密着した美術館の機能のあり方も模索します。

出品作家： 出田 郷、遠藤 幹子、大巻伸嗣、KOSUGE1-16、サキサトム

展覧会の見どころ

* 赤ちゃんから大人まで楽しめる展覧会 *

色とりどりの花が床一面に広がる部屋、自分の動きが光の反射と連動する万華鏡のような空間、身体能力の異なる大人とこどもと一緒に楽しめる作品など、乳幼児を連れても遠慮なく楽しむことができる体感型・参加型の作品を主体として構成します。

* 地域と連携したプログラム *

展覧会に先行して、KOSUGE1-16が、江東区内の子育て家庭支援センター、児童館、保育園計4カ所で乳幼児とその保護者を対象としたワークショップを行い、その成果を作品の一部として発表します。また会期中には、大巻 伸嗣が地元商店街と美術館で乳幼児とその保護者と一緒に花のモチーフを用いたワークショップを行い、美術館と商店街で展示を行う予定です。

* 赤ちゃんと一緒に参加できる関連イベント *

会期中には、大巻伸嗣による大量のシャボン玉を飛ばすパフォーマンス、赤ちゃんと一緒にミニ実験をしながら親子で楽しめる赤ちゃん学研究者の開一夫氏（東京大学教授）による講演会など、親子で参加できるイベントも予定しています。

こどものにわ 展覧会情報

タイトル： こどものにわ
会 期： 2010年7月24日(土)～10月3日(日)
休 館 日： 月曜日 ※ただし8月16日、9月20日は開館、9月21日は休館
開館時間： 10:00～18:00 (入場は閉館の30分前まで)
会 場： 東京都現代美術館 企画展示室地下2階、アトリウム
主 催： 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
助 成： 財団法人地域創造
協 賛： 資生堂
協 力： 江東区、アプリカ育児研究所、株式会社エイブラフト、株式会社エース、華陽堂
(上野書道絵画用品センター)、興和サイン株式会社、株式会社sixinch, JAPAN、
株式会社タジマ、恒川フェルト株式会社、株式会社中川ケミカル、株式会社中村仲製作所、
日本理化学工業株式会社、full-scale、株式会社北條工務店、吉成工業株式会社、
深川資料館通り商店街、江東区毛利保育園

観 覧 料： 一般 1,100円 (880円) 大学・専門学校生・65歳以上 800円 (640円)
中高生 600円 (480円) 小学生以下 無料

※ ()内は20名様以上の団体料金
※ 本展のチケットで「MOTコレクション」もご覧いただけます。
※ 「借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展」のチケットをお買求めの方には割引がございます。

お 問 合 せ： 03-5245-4111 (代表) / 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
H P： www.mot-art-museum.jp
担当学芸員： 東京都現代美術館 事業企画課企画係 難波 祐子 (なんば さちこ)
カタログ： 2010年8月下旬刊行予定 デザイン・大島依提亜 日英バイリンガル
同時開催： 借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展 7月17日(土)～10月3日(日)
MOTコレクション 7月17日(土)～10月3日(日)
オムツ交換台を備えた化粧室や授乳室がございます。ベビーカーでもご入場できます。
B1Fのレストランコントンではお子様向けのメニューもご用意しております (小学生以下対象)。

[関連プログラム]

■アーティスト・トーク

7月25日(日) 14:00- 大巻伸嗣、出田郷、サキサトム

9月23日(木・祝) 14:00- KOSUGE1-16、遠藤幹子

会場：東京都現代美術館地下2階講堂 先着200名様 参加無料 (展覧会チケットのご提示が必要です)

■イベント

8月8日(日) 大巻伸嗣パフォーマンス

8月21日(土)・8月22日(日) 大巻伸嗣ワークショップ (二日間連続開催)

■MOT美術館講座

9月12日(日) 11:00- 「赤ちゃんと一緒に実験、発見！」
開一夫 (東京大学大学院総合文化研究科教授)

会場：東京都現代美術館地下2階講堂 乳幼児とその保護者 先着100組様 事前申込不要・参加無料

9月25日(土) 15:00- 「おもしろい病院の作り方—こどもにとって、本当によい環境とは？」
山口悦子 (日本小児科学会専門医、日本血液学専門医)

会場：東京都現代美術館地下2階講堂 先着200名様 事前申込不要・参加無料

※その他詳細は決まり次第東京都現代美術館HPにてお知らせいたします。

広報お問い合わせ先： 東京都現代美術館 事業企画課企画係 広報班
吉川 m-yoshikawa@mot-art.jp / 野口 r-noguchi@mot-art.jp
東京都江東区三好4-1-1 TEL.03-5245-1134 (直通) / FAX.03-5245-1141

こどものにわ 広報用画像

本展広報用として、下記5点の図版がございます。
掲載ご希望の方は別紙FAXシートにてご希望の図版番号をお知らせください。



① 出田郷 《reflections》2009
Wunderbar Festival (ニューカッスル、英国)
での展示風景
撮影：Joshua Sofaer 参考図版



② 遠藤幹子 《おうえんやま》のためのプラン2010



③ 大巻伸嗣 《ECHOES-INFINITY; Kumamoto》(部分)
撮影：矢加部咲 会場・写真提供：熊本市現代美術館
参考図版



④ KOSUGE1-16 《大きな木(小)》のための模型2010



⑤ サキサトム 《メーヤの部屋》2010 ©サキサトム

出品作家紹介 (※五十音順)

* 出田郷 GOHIDETA

光と空間の関係、人間の知覚についてシンプルな手法で構成するインスタレーションを手がけてきた出田郷。本展では、赤ちゃんの視覚実験などでも用いられる白黒の縞模様から着想を得て構成したアニメーション作品《lines》と、約8,000枚のミラーをはめ込んだ約6メートル四方の床面の上を歩くことで、光の反射が万華鏡のように広がる新作《reflections》を発表します。

* 遠藤幹子 MIKIKO ENDO

親子がくつろぐことのできる空間、異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶことのできるスペースなどをデザインすることを得意とする建築家の遠藤幹子。今回は、広場のようなアトリウムで、KOSUGE1-16の作品の周りに人々が交流できるような空間を創り出します。

* 大巻伸嗣 SHINJI OHMAKI

空間全体を作り出すようなインスタレーション作品を多数発表してきた大巻伸嗣。本展では、白い薄布で構成された異空間への入口となる新作を抜けると、約250㎡の床一面に貼られた白いフェルトの上に色とりどりの顔料で描かれた花模様が登場します。観客が花畑の上を歩くことで、徐々に花や葉の輪郭が崩れていき、人々がそこにいた時間が刻まれていきます。

* KOSUGE1-16

総勢12名でプレーする巨大サッカーボードゲーム、身体能力の異なる大人と子どもが自転車と三輪車で競走できる《サイクロドロームゲーム》など、見知らぬ者同士のコミュニケーションやチームワークの必要なアクティブな作品が展示されます。地元の子どもたちが作った、カラフルな毛虫でいっぱいの約6メートルの木の新作も発表します。

* サキサトム SAKISATOM

ロンドンを拠点に日常における何気ない所作や、異文化の習慣の違いなどをテーマに映像を作ってきたサキサトム。今回は、乳幼児の視覚世界を再現するような16ミリで撮影した色彩あふれる詩的な映像と、誰もいない子ども部屋で繰り広げられるファンタジーを映像化した意欲作を発表します。

東京都現代美術館 事業企画課企画係 広報班宛

FAX. 03-5245-1141

本展覧会広報用素材として、作品画像5点をご用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックス又はEメールにてお申込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

①キャプションは、作家名、作品名、制作年、撮影者等を必ず表記ください。

②作品のトリミング、文字載せはお控えください。

本展記事を紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送りください。

また読者様・視聴者様へのプレゼント用招待券もご手配可能ですので、ご希望の場合はお申し付けください。

媒体名： 『 』

○印をおつけください

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日：

御社名：

ご担当者名：

Eメールアドレス：

@

(〒 -)

ご住所：

お電話番号：

FAX：

図版番号： ご希望の図版番号に✓をおつけください。

- ① 出田郷《reflections》2009 Wunderbar Festival (ニューカッスル、英国)での展示風景
撮影：Joshua Sofaer 参考図版
- ② 遠藤幹子《おうえんやま》のためのプラン 2010
- ③ 大巻伸嗣《ECHOES - INFINITY; Kumamoto》(部分) 2009
撮影：矢加部咲 会場・写真提供：熊本市現代美術館 参考図版
- ④ KOSUGE1-16《大きな木(小)》のための模型 2010
- ⑤ サキサトム《メーヤの部屋》2010 ©サキサトム

プレゼント用招待券をご希望の場合は✓をおつけください。 10名様 / 20名様

広報お問い合わせ先： 東京都現代美術館 事業企画課企画係 広報班

吉川 m-yoshikawa@mot-art.jp / 野口 r-noguchi@mot-art.jp

東京都江東区三好4-1-1 TEL.03-5245-1134 (直通) / FAX.03-5245-1141